

偶々曩ニ張作霖ハ洮南―索倫鐵道敷設ニ関シ滿鉄ニ謀ル
処アリ滿鉄亦本鐵道ノ經濟的価値相当大ナルモノアルニ
鑑ミ敷設ノ意志充分アリ又本鐵道付近地方官民ニ至リテ
ハ地方ノ開發及之ニ基ク自己ノ利益ヨリ打算シ之亦其促
進ヲ切望シアル情態ナリ

本鐵道ノ戰略的価値ノ重大ニシテ敷設ノ氣運熟シアルコ
ト前述ノ如シ我カ軍部ハ須ク当事者ヲ刺激援助シテ其促
進ヲ計リ北滿鐵道政策遂行ニ一步ヲ進ムヘキナリ

一一二六 八月二十八日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

洮索鐵道ニ関スル町野トノ会谈内容報告ノ件

第二五六号(極秘)

昨二十七日町野来談索倫鐵道ニ就キ大蔵ト交渉顛末ヨリ彼

此ト不平ヲ訴ヘタルニ付元来本件ハ張作霖ヨリ曾テ談アリ
タルノミニテ中絶シ其後足下ニ於テ大蔵ト直接談合シタシ
トノコトニ付之ヲ拒ムヘキ筋合モナケレハ大蔵ヲシテ足下
ニ当地ニテ会谈スル様取計ヒタル以來別ニ消息ナキヲ以テ
爾来本官ハ考ヘモセサル次第ナリ本省ノ意向ハ兎ニ角支那
側ニ妙案アラハ之ヲ考慮スルニ吝ナラス然レトモ支那側昨
今ノ無条理極マル態度ニテハ鐵道等ノ談ニアラス其中楊宇
霆ニ篤ト諸問題ニ就キ懇談シタク思ヒ居ル次第ヲ告ケタル
ニ早速取次クヘシトテ去レルカ次テ楊ヨリ一兩日中ニ來訪
シタク旨申シ來リタリ三十日ニ会谈ヲ約シタルニ付其際貴
電第一二二一号御来訓執行ノ素地ヲ作り次テ張作霖ニ面談ノ
心組ナリ

事項一〇 雜件

(1) 中国ヘノ武器供給問題

一一二七 一月六日 幣原外務大臣ヨリ
在浦潮渡辺總領事宛(電報)

ソ連邦ヨリ馮玉祥ヘノ武器供給ニ関シ真相取
調方訓令ノ件

第三号

馮玉祥ノ參謀ハ在支公使館付陸軍武官ニ対シ極秘トシテ目
下浦潮ニ於テ馮玉祥ニ供給スヘキ武器彈藥ヲ七隻ノ汽船ニ
積込中ニテ該汽船ハ近ク大沽又ハ秦皇島ニ來ル筈ナリト内
話セル趣ナルカ右真相取調ヘ回電アリ度

一一二八 一月九日 在雲南糟谷領事ヨリ
幣原外務大臣宛

唐繼堯ノ仏国ヨリ武器購入計画ニ関スル件

付記

大正十四年十二月十三日付在雲南糟谷領事ヨリ

幣原外務大臣宛機密公第八六号

時局ニ対スル唐繼堯ノ意見並ビニ列国ニ対シ援
助方運動ノ件

一〇 雜件 一二二七 一二二八

機密公第一二号

大正十五年一月九日

在雲南

領事 糟谷 廉二(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

雲南政府仏国ヨリ武器購入計画ノ件

唐繼堯ハ支那ノ赤化防止ヲ理由トシテ本官及仏国領事ニ武
器及金錢上ノ援助ヲ求メタル次第ハ客年十二月十三日付機
密公第八六号拙信末段ヲ以テ報告ノ処今般山県大佐ガ唐繼
堯ヨリ聞知シタリトテ本官ニ内談スル処ニヨレハ唐ハ昨年
八月中范石生軍ト省内広南開化地方ニ於ケル戰鬪及滇越鉄
道沿線ノ土匪討伐ノ為メ曩ニ同鐵道警備用トシテ北京外交
団ノ承認ヲ得テ仏国ヨリ購入シタル歩兵銃三千挺機関銃四
挺(在支公使発本省宛大正十二年十二月三日付機密第八八
九号信御参照)中亡失毀損シタルモノ多数ニ上リ之カ補充
ノ必要アリトノ理由ヲ以テ当地仏国領事ニ運動ノ結果仏国
側ヲ動カシ在支仏国公使ヨリ北京外交団ニ対シ又々該鐵道

一四〇五

警備用トシテ仏国ヨリ武器供給ニ関シ（種類数量不明）承認ヲ求ムルコトナリタル趣ナリ

本信写送付先 在支公使

（付記）

大正十四年十二月十三日付在雲南糧谷領事ヨリ幣原外務大臣宛機密公第八六号

時局ニ対スル唐繼堯ノ意見並ビニ列国ニ対シ援助方運動ノ件
機密公第八六号
（大正十五年一月十八日接受）

大正十四年十二月十三日

在雲南

領事 糟谷 廉二（印）

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

時局ニ対スル唐繼堯ノ意見並ニ列国ニ対シ援助方運動ノ件

シ援助方運動ノ件

（欄外記入）十二月九日唐繼堯ハ本官ニ対シ先ツ北方ノ政局ニ関シ奉天派ノ崩壊ト馮玉祥ノ勢力拡大ニツキ述ヘタル後

支那ハ将来愈赤化ス可ク国民軍ト国民党左傾派トハ連盟ヲ結ヒ居レリト信ス可キ理由アリ馮玉祥モ蔣介石モ自家勢力ノ伸展上一時露國ヲ利用スルニ過キスト称シ居ルモ一旦強

勢力拡大ト共ニ印度支那ヲ有スル仏國香港及緬甸ヲ有スル英國ノ受クル影響ハ甚大ニシテ日本モ亦其影響少カラサル可シ支那ニ於テ共產派ノ勢力カ伸張スルハ露國ノ援助アル故ニシテ最早ヤ到底独力ヲ以テ對抗スルコト困難ナレハ外力ヲ借り抵禦スルノ外ナシ就テハ列國ハ南方ニ於テハ余ヲ援助シテ広東ヲ攻取シ以テ支那ノ赤化ヲ救フヲ以テ最モ機宜ノ策ナリ云々

ト自家ニ好都合ナル言ヲ述ヘ今夏上海広東其他各地ニ於ケル排外暴動發生ニ際シ右ハ露國ノ煽動ニ因ルモノナリトシ支那ノ赤化救済ヲ名トシテ当地各國領事ニ対シ武器供給ノ承認ヲ得ントシタルトキト（十二年七月十七日付機密公第五三号拙信御参照）同一ノ筆法ヲ以テ又々列國ヨリ武器金錢上ノ援助ヲ庶幾セリ依テ本官ハ我政府ハ既定方針タル對支不干渉政策ヲ嚴守シ居ル旨ヲ詳細説明シ可然應對シ置キタルカ翌十日外交司長兼財政司長徐之琛ノ談ニヨレハ唐ハ仏國領事ニモ兩広及雲南ノ赤化ニヨル仏領印度支那及滇越鐵道ノ蒙ル可キ影響ノ重大ナルコト説キ荐リニ其援助方ヲ求メ又英國側ニ對シテハ人ヲ香港ニ派遣シ折角香港政庁ニ運動中ナルモ未タ何等端緒ヲモ得ストノコトナリ

大ナル露國ニ倚賴スルヤ却テ利用セラレ其勢力ニ屈伏スルニ至ル可ク現ニ胡漢民等ノ運命ニ徴シテ明カナリ北方ニ在リテ強盛ナリシ張作霖モ今次ノ失敗ニヨリテ其勢力ノ挽回ハ容易ナラサル可ク実力ナキ段祺瑞ノ前途モ亦知ル可キノ馮玉祥ハ仮令一時最モ有力ナル地位ヲ贏チ得ンモ是亦權謀ト術數ヲ事トシ来レル從來ノ遺口ニ由リ民心ヲ收攬スルコト能ハス必ラスヤ不遠倒壊スルニ至ルヘク斯クテ支那ハ四分五裂内争ノ絶ユル日ナク而モ露國ノ赤化運動ニ禍セラレ益混亂ニ陥ル可ク又南方ニ在リテハ広東ノ蔣介石ハ露國巨額ノ金ト武器ノ供給ヲ受ケ省内ノ統一着々進捗シ最近欽州廉州方面ヲ攻撃中ナルカ鄧本殷申保藩林俊廷等ハ最早ヤ其敵ニ非ラサル可ク次テ海南島ヲ攻略シ然後広西ニ手ヲ染ムル可ク広西ハ既ニ李宗仁黃紹雄等トノ連絡成リタルニ付テハ同省ヲ收ムルハ容易ニシテ兩広ニシテ其勢力圈内ニ入りタルトキハ雲南ハ反唐派ノ雲南出身ノ將領朱培德范石生金漢鼎等ノ一味ヲ援助シテ侵入セシメ共產主義ヲ実行スルニ至ル可シ共產主義ニ反對スル余ハ極力之カ防禦ニ從フ可キモ露國ノ有力ナル後援アル以上力及ハサルトキハ遂ニ雲南ヲ彼等ノ手ニ委ヌルニ至ルヤモ不被計カクテ共產派ノ

前記ノ如ク唐繼堯カ現下ノ時局ト支那ノ赤化ヲ説キ列國ノ援助ヲ乞ハントスルハ今ヤ内ハ省政府部内ニ内訌起リ唐繼堯ノ威力又昔日ノ如クナラス外ハ蔣介石ノ成功ト共ニ朱培德范石生等雲南侵入ノ計画アリ内憂外患交々臻リ頗ル窮境ニ陥レルヲ以テ外力ノ支持ニ依リ此苦境ヲ打開セントスルカ主タル底意ナリト觀取セラル

本信写送付先 在支公使

（欄外記入）

唐繼堯張作霖ニ支那赤化ノ危險ヲ説キ初ム

一一二九 一月十二日

出淵外務次官ヨリ
津野陸軍次官宛

奉天側武器購入ノ詳報申進ノ件

丑一機密第九号

奉天側ノ武器購入問題ニ関スル件

御参考ノ為別紙送付ス

（別紙）

機密公第四三八号

（十一月十七日接受）

大正十四年十一月十二日

在奉天

總領事 吉田 茂

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

奉天側ノ武器購入問題ニ関スル件

本件ニ関シテハ往電第一七〇号ヲ以テ不取敢報告シ置キタル通り十一月四日英国總領事当館ヲ來訪シ駐日同国大使館カ日本陸軍側ヨリ出テタル情報トシテ聞込タル処ニ依レハ先般張作霖ハ英国ヨリ多数ノ武器ヲ購入シタル趣ヲ以テ右事実ノ有無取調方在支同国公使ヨリ命令アリタリトテ何等カ本官ニ於テ聞込ノ次第アリヤト訊ネタルニ付曩ニ客月二十一日内山領事カ張作霖ヲ訪問シタル際張ハ今回英国ヨリ約十萬挺ノ小銃ヲ手ニ入レタリト語リタルコトアルヲ以テ

(往電第一五三号末段参照) 英国武器輸入ノ噂ハ右辺ニ胚胎セサト輕ク答ヘ置キタルカ本件ニ関シテハ予テ注意中ナリシヲ以テ一応特務機關菊池少將ニ其経緯ヲ問合セタル処江浙時局逼迫前數週既ニ張作霖ハ今回英国ヨリ多数武器ヲ購入スルコトナレル旨ヲ同少將ニ語リタル趣ニテ同少將ハ天津駐屯軍ニ對シ奏皇島ヨリ輸入セラルル武器ニ関シ注意方ヲ電報シ置キタルカ其ノ後張ハ屢々英国ヨリ多数ノ武器到來スヘシト語り客月十七日同少將張ニ面会シタル際

ル由ニテ其數量ハ小銃八萬一千挺彈丸四千萬発其價格約四百萬元ナリト記憶ス右ノ内日本銃ノ購入先ハ「ブラーグ」ニシテ右ハ日本ヨリ「チェコスローバキヤ」ニ供給シタルモノナルモノナリト云フ且ツ独逸ニテハ支那行トシテハ武器輸送ハ許可セラレサルヲ以テ漢堡出港ノ際浦潮行トシテ出港シタルモノナラン云々

右及報告申進ス

本信写送付先 在支公使、天津、上海總領事

一一三〇 一月十三日 在浦潮渡辺總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

馮玉祥ヘノ武器供給ニ関シ調査回電ノ件

第一六号

(一月十四日接受)

貴電第三号ニ関シ

爾來各方面ニ亘リ取調ヘタル処七隻ハ扱置キ一隻モ武器類ヲ積込メル形跡ナク唯一ノ容疑船「アストラハン」号(客年厦門方面ニテ問題ヲ起シタル前義勇艦)モ邦人ノ天津行材木積込ヲサヘ斷リ清津芝罘等經由上海ニ向ケ昨十二日出帆シタルカ何等容疑ノ点ナカリシ由尚本官カ当地支那總領事ニ夫レトナク聞キタルニ馮カ昨年頃勞農側ヨリ「ザバイ

(欄外記入)

該武器ハ既ニ牛莊ヨリ当地ニ回送アリタリトテ其一挺ヲ示シタルニ依リ同少將仔細ニ之ヲ点檢シタルニ右ハ廢棄処分トセル三八式日本歩兵銃ナリシニ一驚シタルカ作霖ニ於テモ実ハ英国銃若ハ露国銃ヲ購入シタル積リナリシニ其大部分カ日本銃ナリシハ意外トノ面持ナリシ由ニテ其ノ後實數ニ付總司令部ニ於テ取調ノ結果總數九萬一千四百三十六挺ニシテ内露国銃三萬三千四百六十六挺アリ爾余五萬七千九百七十挺ハ三八式歩兵銃及極少數ノ三十年式歩兵銃ナリシト云フ尚彈藥ハ五百萬ト云ヒ或ハ五千萬ト伝ヘラルルモ不明ニシテ之等銃器ハ既ニ戰線ニ向ケ發送済ナリトノコトナリ

然ルニ翌五日内山領事カ停車場ニ於テ独逸總領事代理ト出會ノ際夫トナク十月十四日牛莊入港ノ「ジョージ」号ニテ独逸ヨリ多数ノ武器輸入セラレタル由ナルカ右ハ何人ノ手ニ依リテ輸入セラレタリヤト訊ネタル処同總領事代理ノ内話スル処ニ依レハ右ハ在漢堡 Ludwig Bing & Co. カ奉天當局トノ契約ニ依リ輸入シタルモノナルカ自分ノ聞知スル処ニ依レハ最初奉天側ハ独逸品ヲ購入スル積ナリシカ品不足ノ為中途ヨリ契約ヲ變更シ大部分日本銃ニ變更セラレタ

カル」蒙古方面經由武器類ノ供給ヲ受ケタルヲ耳ニセルモ現形勢上海路之カ授給ハ不可能ナラント内話セリ本官ハ馮參謀ト我武官ノ關係ハ承知セサルモ往電第一〇号馮ノ失脚ヲ事實トセハ本件ハ何等間違ナラスヤト存セラレ(脱)ナカラ依然注視スヘキモ右不取敢

(欄外記入) 陸軍ヘ、守島ヨリ佐藤少佐ヘ電話ノ上写送付スヘシ

一一三一 一月十三日 第一遣外艦隊司令官ヨリ
大角海軍次官齋藤軍令部次長宛
(電報)

廣東政府ノ武器購入ニ関スル件

一遣機密第二七四番電 (一月十四日外務省接受)

一月十二日長沙軍艦隔田情報

一、在廣東駐在武官ノ諜知スル所ニヨレハ十二月二十日浦塩ヨリ黄埔ニ入港セル露国軍艦ハ左ノ武器ヲ廣東政府ニ交付セリ

飛行機五十台、機砲八百門、小銃(三八式)四千挺、小銃彈藥若干

二、廣東政府ハ之ヲ第二軍譚延闓ニ供給シ二月頃北伐軍ヲ起シ第一軍ハ浙江省第二軍ハ湖南省第三軍ハ江西省ヨリ夫々長江方面ニ進出セシムル計画ナリト云フ

一月十三日

一一三二 一月十四日 在中国公使館付本庄武官ヨリ
金谷參謀次長宛(電報)

中国陸軍部ノ軍需品購買計画ニ関シ通報ノ件

支第十五号 (一月十五日外務省接受)

当地泰平組合出張員ノ談ニ依レハ陸軍部軍械局ノ代表胡副官長出張員ニ対シ今回陸軍ニ於テ小銃彈一千万發無烟火藥一千万磅其他野砲等大量ノ軍需品購買ノ計画アリ為シ得レハ日本ヨリ購買シ度キモ若シ不可能トセハ止ムヲ得ス他ヨリ購買スル外ナク既ニ某國(多分独逸ナラン)トハ打ち合セ濟ナリト語レリ尚右軍需品ハ陸軍部ノ名義ナルモ實際ハ國民軍ノ要求ニ懸ルモノナリト因ニ当地泰平組合主任町本ハ本月九日東京着目下貴地ニ在リ

一一三三 一月二十七日 在青島江戶總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛

銃器売込ニ関スル邦人ノ暗躍ニツキ報告ノ件

機密第四九号 (二月三日接受)

大正十五年一月二十七日 在青島

(欄外記入二)セルカ同人ノ上京ハ本問題ト密接ナル關係アル趣ニテ時節柄注意ヲ要スヘキ儀ト察セラルルニ付御参考迄ニ報告ス
本信写送付先 在支公使、濟南總領事、関東長官

(欄外記入)

- 一 岡村ハ客年末上京水口道造塩業補償金關係ニテ屢々來省セリ
- 二 倉谷ニハ懇ニ説諭セル処青島ヨリ又東京前後二回政府ノ方此上不可能ナリト張督弁ヘ打電セル由

一一三四 一月二十九日 在中国芳沢公使ヨリ
幣原外務大臣宛

雲南鐵道警備用武器輸入ニ関スル外交団回章

写送付ノ件

機密第一三〇号 (二月十二日接受)

大正十五年一月二十九日 在支那

特命全權公使 芳沢 謙吉(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

雲南武器輸入ノ件ニ関スル外交団回章写送付ノ件

和蘭首席公使ヨリ本月十四日付回章第一六号ヲ以テ仏國政府ハ雲南鐵道警備用トシテ小銃七千挺及之ニ相当スル彈藥

總領事代理 領事 江戶 千太郎(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿
銃器売込ニ関スル件

(欄外記入一)当地在住弁護士岡村龜太郎ハ先年「セミヨノフ」カ我陸軍省ヨリ譲受ケ現在大連市某所ニ保管中ナリト稱スル步兵銃(付屬品付)二万挺ヲ今回張山東督弁ニ売込マントテ過般上京セルカ既ニ陸軍當局ノ諒解ヲ得近ク外務省ヨリ青島領事ヘ右売込ヲ認容スル様電報スル位迄ノ手配ヲ行ヒタリト稱シ当地關係人吉木周治宛電報ヲ以テ早速資金調達方ヲ依頼スルト同時ニ當時奉天在住ノ前「セミヨノフ」顧問瀨尾榮太郎ニ対シ出京ヲ促シタル趣ナリ然ルニ前記吉木ハ當省坊子西炭坑ヲ經營スル吉木組ノ代表者ニシテ相當ノ人物ナルカ事重大ナルニ鑑ミ本月二十日日本官ヲ來訪シ右売込認容ノ見込アルヤ否ヤヲ尋ネタルニ付本官ハ支那ニ於ケル武器供給ノ許スヘカラサル所以ヲ縷述シ懇ニ其不心得ヲ訓戒セル処同人ハ恐縮シテ引下ルト共ニ直ニ岡村ニ対シ本件ヲ思ヒ止マル様打電セルカ更ニ岡村ヨリノ電報ニ拠レハ瀨尾ハ此二十五、六日頃着京ノ予定ナル趣ナリ

尚張督弁顧問倉谷箕藏ハ二十三日当地出帆春日丸ニテ上京

ヲ輸入セントスル唐繼堯ノ要望ヲ容認シ度キ趣ヲ以テ本件武器ノ輸入ニ対シ公使団ノ承認ヲ求ムル旨同公使宛仏國公使ノ書翰ニ首席公使ハ和蘭公使トシテ本件輸入ニ異議無キ旨ヲ付記シ回覽ニ付シ來レリ
本件ニ関シテハ英、伊兩國公使共何等意見ヲ述ヘサリシヲ以テ本使ニ於テモ何等「コムメント」ヲ付セス回送セリ尚委曲別添回章写ニ就キ御知悉アリタシ

編註 別添回章写省略

一一三五 二月十日 在濟南藤田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

張宗昌ノ武器購入計画ヲ續ル邦人ノ介在ニ関

シ通報ノ件

付記 張宗昌ノ武器買入方申出ニ関スル件

第二〇号 (二月十一日接受)

独逸人「アドルフカイム」(天津凱穆洋行)ナル者天津

洋行(独逸商)ノ代理人トシテ二週間前当地ニ來リ張督弁

トノ間ニ銃器売込ノ協議ヲ進メ居ル処同人カ当地正金支店

長ニ語リタル所ニ依レハ 洋行ハ天津在住ノ某日本人ヲ

通シ小泉司令官トノ間ニ張督弁カ代金ヲ濟南正金銀行ニ供

託スルコトヲ条件トシテ武器ヲ日本ヨリ供給スヘシトノ口頭約束成立シ居ル趣ニテ右独逸人ト張督弁ト協議ノ結果小銃一万挺(此ノ代金百四十萬元)ノ売却ヲ為シ右小銃ハ青島船渡トシテ其ノ後督弁ノ手ヲ以テ通關輸送ヲ為スコトトシ尚右代金供託ニ関シテハ目下右独逸人及督弁トノ間ニ「アドルフ」ノ名義ヲ以テ供託シ若シ武器到着セサル時ハ督弁ノ名義ヲ以テ受取ル条件付ニテ話合ヒヲ進メ正金ニ相談ヲ持掛ケタルモ正金トシテハ單純ナル供託ハ預金事務トシテ取扱フヘキモ条件付供託ニハ応セサル意向トノコトナリ右小泉司令官ノ口約束ノ真相ニ関シテハ当地ニ於テハ是以上確カマルニ由無キモ現ニ督弁顧問倉谷カ武器購売ニ関スル用務ヲ帶ヒ奔走シツツアル事実モアリ加之是等ノ間ニ何等カ關係アルニ非サヤトモ認メラル

(付記)

張宗昌ノ武器買入方申出ニ関スル件

(重細重局作成調書)

曩ニ山東督弁張宗昌ヨリ幣原外相及宇垣陸相宛十月二十八日濟南發平文電報ヲ以テ三八式小銃一万挺彈丸一千万發並ニ三八式機関銃二十挺ノ供給ヲ受ケ度ニ付右適當ノ日本商

サル中ニ張宗昌軍南京ニ進入シ右輸入品ハ同軍ノ押收スル所トナリタル結果市原ハ右代金ノ支払ヲ張宗昌側ニ要求シ結局二万五千元ノ支払ヲ受ケタルコトアリ以來市原ハ如何ナル方法ニテカ張ノ信賴ヲ得タルモノノ如ク現ニ張ノ仕送りニ依リ豪奢ナル生活ヲ送り居レル由ナル処一方市原ハ前記取引ニ関シ大阪古賀某ヨリ一万七千元ノ融通ヲ受ケ居ルニモ拘ラス前記二万五千元ノ大部分ヲ着服シ居ルノ次第ナルニ付張宗昌邦人顧問倉谷ハ古賀ノ立場ニ同情シ新ニ古賀ノ手ニヨリ張側ニ陸軍廢銃供給方ヲ斡旋シ居ル処市原ハ又此ノ間ニ立廻リ張ノ信用ヲ利用シ種々画策シ居ル次第ナリト云フ

(十四、十一、十三守島)

一一三六 二月十四日 在天津有田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

張宗昌ノ武器購入ヲ繞ル小泉司令官ノ関与ニ

関シ報告ノ件

第一〇号

濟南發閣下宛電報第二〇号ニ関シ

小泉司令官ニ直接確メタル処何等似寄リノ事実スラ無之旨

一〇 雜件 一一三六 一一三七

人ニ私下ノ上當方ニ送付セシメラレ度旨申越シタル処張カスル突飛ナル行動ニ出テタルハ本邦奸商等ノ運動ニ乗セラレタルモノナルヘシト認メラレタルニ付本省ハ不取敢在濟南藤田總領事ニ対シ張ニ面会ノ上帝国政府ノ対支不干渉方針ヲ説明スルト共ニ我方トシテハ対支武器禁輸協定ノ關係ニモ顧ミ殊ニ目下ノ動亂中支那ノ何レノ党派タルトヲ問ハス絶對ニ武器供給ノ需ニ応セサル次第ヲ篤ト申聞ケ日本當局ノ了解アリナト振廻ル奸商等ニ乗セラレサル様忠告方電訓スル所アリタリ

然ルニ其ノ後本件ハ前記推察ノ通り対支武器密輸常習者タル市原才助ノ画策ナルコト判明セリ即チ市原ハ最近広田欧米局長ノ許ニ土肥某又木村亞細亞局長ノ許ニ三島某ヲ出頭セシメ師團廢止ニ伴フ廢銃ノ売却ヲ目的トシ本件ニ付種々運動カマシキコトヲ申述ヘ殊ニ山東鐵道警備用武器調達ヲ云々シタル由ニテ木村局長ヨリ右山東警備用武器ハ山東交渉當時既ニ解決シ居リ旁々本件ハ詮議ノ限りニ非ル旨ヲ說示シ置キタルカ尚他方面ノ情報ニ依レハ市原ハ客年江浙戰爭中江蘇督理齊燮元側ノ注文ニ依リ支那ニ棄表其他ヲ密輸入セル処偶々齊燮元没落ノ為メ之カ引渡ヲ了スルコトヲ得

言明シ居レリ

北京、濟南、青島ニ転電セリ

一一三七 二月二十三日

在雲南槽谷領事ヨリ
幣原外務大臣宛

雲南政府ノ滇越鐵道警備用武器購入ニ関スル

仏国公使ノ提議ヲ外交團承認ノ件

機密公第三九号

(三月二十三日接受)

大正十五年二月二十三日

在雲南

領事 糟谷 廉二(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

雲南政府仏国ヨリ武器購入計画ノ件

本件ニ関シ本年一月九日付機密公第一二号拙信ヲ以テ報告ノ処本日当地米國領事「マイヤース」カ当地英國總領事「トース」ヨリ内閣シタリトテ語ル処ニヨレハ最近在支仏國公使ヨリ北京外交團ニ対シ滇越鐵道警備用トシテ仏國側ヨリ雲南政府ニ武器供給方ニ関スル承認ヲ求メタル処外交團ハ之ヲ承認シタル旨在支英國公使ヨリ右英國總領事ニ通知アリタリトノコトナリ猶ホ武器ノ數量ハ歩兵銃七千挺一

一四二三

挺ニ付彈藥八百個付屬価格ハ一挺ニ付仏銀七八十ピアスト
ルナリト云フ

本信写送付先 在支公使

一一三八 三月八日 在芝罘別府領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛

王煙台戒嚴司令ヨリ土匪鎮壓及ビ県衙門警備
用ノ名目ニテ武器購入斡旋方申入レアリタル件

機密第七三三 (三月二十日接受)

大正十五年三月八日

在芝罘

領事代理 副領事 別府 熊吉(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

煙台戒嚴司令王文泰ヨリ武器購入方申入

レノ件

三月七日午前王戒嚴司令私カニ本官ヲ来訪郷里莒県地方ニ
於テハ目下土匪横行シ村民不安ニ驅ラレ居ル処急遽部下ヲ
派シ救助セシメ度キニ付テハ短銃十挺彈藥各二百発宛今明
中ニ入手致度尚此外東海道各県知事ヨリ県衙門警備用トシ
テ明治三十八年式長銃千挺彈丸各五百発宛購入致度処後者

ハ差シテ取急クニ非サルモ短銃及長銃ヲ併セテ当地ノ有力
ナル邦商ヲ介シ何ントカ斡旋出来間敷モノナルヤ右輸入ニ
関シテハ万々貴官ニ迷惑ヲ掛ケサル様手段ヲ尽スヘシトテ
在青島當時ノ邦商ノ例ヲ引キ強ヒテ懇請アリタルカ右ニ對
シ本件武器輸入ハ列國トノ協定ニ触ルルヲ以テ輸入手段ノ
如何ニ拘ハラス乍遺憾之ヲ取次クヲ得サル旨申聞ケ置ケリ
査スル処右購入ノ事由ハ全然口実ニテ実ハ現在当地ニ殘駐
ノ兵員ハ二營ナルモ武器ヲ有スルモノ其半ニモ満タス又其
武器トテモ悉ク旧式ニテ使用ニ適セサルニ拠リ(武器ノ大
部分ハ曩ニ出征ノ当地駐兵中六百名持行ケリ)右ノ申出ア
リタルモノト察セラレ

本信写送付先 在支公使 在濟南總領事 在青島總領事

一一三九 三月十二日 在中国勞沢公使ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

張宗昌向ケ軍需品輸送ニツキ日本側ノ援助ア
リトノ疑惑ニ関シ内探方指示ノ旨報告ノ件

第一二九号 (三月十三日接受)

本官發青島宛電報第二号

過般衰良ハ船津ニ對シ張作霖ヨリ張宗昌ニ對シ小銃三千挺

彈丸百万發軍資金十萬元ヲ送リタルカ右輸送ニ對シ日本側
ニ於テ援助ヲ与ヘタリトノ情報ニ接シタリト語リ又其ノ後
屈映光モ同様ノ口吻ヲ洩シタルカ之ニ對シ船津ハ日本側カ
斯ル援助ヲ与フルコトハ斷シテアルヘキ筈ナシ大連青島間
ニハ日本船ノミナラス政記公司ノ船モ通ヒ居レハ或ハ其ノ
辺ノ誤解ナラント答ヘ置キタル趣ナルカ国民側ハ兎ニ角右
ノ如キ疑惑ヲ懷キ居ル向アルヤニ思考セラルルニ付斯ノ如
キ疑惑ヲ惹起セシムル何等類似ノ事実アリヤ否ヤ御内探ノ
上回報ヲ請フ

外務大臣ヘ転電セリ

一一四〇 三月十三日 在青島江戸總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

張宗昌向ケ軍需品輸送援助ノ疑惑ニ関シ日本
側ニ当該事実ナキ旨報告ノ件

第四六号

本官發在支公使宛電報第二八号

貴電第二号ニ関シ

奉天ヨリ山軍ニ供給セル軍需品ハ旅順及大連ヨリ孰レモ政
記公司所屬船ニテ当地ニ輸送セラレタリ之ニ對シテハ当地

税関ニ於テハ何等手ヲ付クル能ハサル趣ナリ貴電御申越ノ
分ト認メラルルハ客年往電第三七八号所報十二月二十四日
大連ヨリ入港セル本邦船第十六共同丸カ解体飛行機一台ヲ
運送セル事実アルノミナリ尚当地支那軍憲ニ於テハ軍需品
輸送事務取扱ノ為メ旅順大連ニ事務所ヲ設置シタキ旨一月
二十一日付公文ヲ以テ当館ニ申越ノ次第アリ当館ニ於テハ
関東庁ト照復ノ結果支那軍憲カ必需品購入輸送ノ為派員滯
在セシムルハ別ニ差支ナキモ派遣員カ自己ノ肩書ヲ振廻シ
又事務所ヲ常設スル事ナキ様致シタキ旨二月二十七日付ヲ
以テ回答シ置キタリ(関東庁ノ通報ニ依レハ大連ニ於テ輸
送事務ヲ取扱ヒ居リタル派遣員ハ既ニ当地ニ引揚ケタル趣
ナリ)以上ノ外当館ノ関知スル限り日本側ニ於テ輸送上ノ
援助ヲ与ヘタル事実ナシ

外務大臣ヘ転電セリ

一一四一 三月十八日 在青島江戸總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

督弁ノ護照ヲ有スル船舶ノ港内検査不可能ニ
ツキ邦人ノ武器密輸ハ積出港ニテ嚴重取締方
要請ノ件

第五二号 (極秘)

十六日当地入港ノ原田丸カ神戸ニ於テ積載セル電氣器具五十四箱ハ当地税関ニ於テ銃器タル疑アリトテ之ヲ検査セントシタル処港政局長ヨリ張督弁ノ發給セル軍器護照ヲ提出シタル為十七日已ム無ク之ヲ通過セシメタル趣ナリ右五十四箱ハ一月二十六日付機密第四九号拙信所報倉谷實藏ノ取扱品ナル由 (港政局長ノ副稅務司ニ対スル内話ニ依ル) ナルカ海關トシテハ目下山東ノ時局ニ鑑ミ督弁ノ護照アルモノニ対シテハ如何トモ為ス能ハサル趣ナルヲ以テ此ノ種武器ノ輸入ヲ禁止セムトセハ積出港ニ於テ取締ルノ外無シト思考セラルル処今後斯ノ如キ手段ニ依リ密輸入ヲ企ツル者アルヘシト察セラルルニ付此ノ際在貴地倉谷ニ対シ警戒ヲ加ヘラルルト共ニ神戸及門司ニ於テ嚴重取締方実行相成様致シタシ

公使發本官宛電報第二号ノ次第モアルニ付右特ニ電稟ス北京、濟南ヘ電報セリ

一一四二 四月七日 幣原外務大臣ヨリ
在中国芳沢公使宛 (電報)

國民軍ノソ連邦ヨリ武器入手説ニ関シ調査回

トノ報道ニ依リ護送見合せ中右蒙古人ハ商務会ノ保証ニテ釈放セラレタリト云フ (三) 現ニ在庫倫本邦人ハ拘留中ノ渋谷篠田菅原 (猪口久郎ハ滿州里ニ通信ヲ發シ軍事關係者ト見做サレ拘留) ノ四名ト居住開業医児島其ノ五名ナリ右盛島ヘ伝ヘラレタシ

(B) 馮玉祥ハ三月二十五日庫倫到着露国方面ヨリ平地泉ニ向ケ十数台ノ自動車ニ小銃彈ヲ積載シ三月二十六日庫倫通過ニテ發送セリト云フ

右(A)(一、二、三ヲ含ム) 大臣ヘ転電アリタシ

一一四四 四月八日 在中国芳沢公使ヨリ
幣原外務大臣宛 (電報)

ソ連邦ヨリ國民軍ヘノ武器供給ニ関シ情報ノ

出所及ビ其ノ概数ニツキ報告ノ件

第二五九号 (四月九日接受)

貴電第九六号ニ関シ

本件情報ノ出処ハ京師警衛總司令部ニ絶エス出入シ居ル方夢超ノ内話及現ニ西直門ヨリ搬入シツツアルヲ目撃シタル者ノ談話等ヲ綜合シタルモノニシテ其数量ハ素ヨリ的確ニ突止メ難キモ方夢超ノ談ニ依レハ貨物自動車三百輛分ト称

電方訓令ノ件

第九六号

貴電第二四四号 (イ) 國民軍カ露国ヨリ多量ノ武器彈藥ヲ入手セリトノ情報ノ出所並出來得レハ右武器彈藥ノ数量等参考トシテ承知致度ニ付右御取調ノ上至急回電アリ度

一一四三 四月八日 (着) 在中国芳沢公使ヨリ
幣原外務大臣宛 (電報)

軍務探偵ノ嫌疑ニテ逮捕拘禁セラレタル本邦

人ノ消息等ニ関スル件

第二五八号

在張家口領事發本官宛電報

第三二号

(A) 大臣發亞二普通第一号來信ニ関シ鄭家屯ヨリ渋谷篠田菅原ト共ニ入蒙セシ蒙古人帰來報告ニ拠レハ十二年旧六月十三日旅行券ナシトノ理由ノ下ニ軍務探偵嫌疑ニテ逮捕サレタルモノノ如ク直ニ庫倫ニ護送拘禁中 (二) 先般當館ヨリ送付シタル外套帽子靴等ハ給与セラレ全部旧一月二日滿州里ニ向ケ護送セラルル筈ナリシモ偶々渋谷カ発病シタル為一時延期次テ國民軍反國民軍ノ戰爭發生シタリ

セラル其内容ハ主トシテ小銃彈藥及小銃ナルカ如ク尚目下続々輸送中ニ在リトノ趣ナルカ他ノ情報ニ依レハ「キヤクタ」領事申作霖ヨリ三月二十九日付外交部宛密電ヲ以テ露国ハ小銃彈百五十万發ヲ「ウージンスク」ヨリ「キヤクタ」ヲ經テ庫倫ニ運送セリ恐ラク張家口ニ転送シ國民軍ニ供給スルモノナルヘシト報告シ來リタル趣ナルカ彼此対照スルニ右露国側ヨリノ彈藥供給ハ尚引続キ行ハレツツアルカ如シ

一一四五 四月二十二日 關東庁警務局長ヨリ
出淵外務次官他宛

中国ニ於テ拿捕セラレタルソ連邦武器密輸船

員ノ送還ニ関スル件

關機高收第九五〇〇号ノ一 (四月二十七日接受)

大正十五年四月二十二日

關東庁警務局長

外務次官殿

拓殖局長殿

警保局長殿

指定庁府県長官殿

関東軍參謀長殿
関東憲兵隊長殿
駐在海軍武官殿
哈爾濱內務事務官殿

ソヴェイト連邦武器密輸船員送還ニ関スル件

本年一月二日浦塩出帆三月七日大沽入港ノ際支那軍隊ノ為メ拿捕セラレタル銃器密輸船「アレーク」号船員四十三名ハ直ニ秦皇島ニ送ラレ奉天軍政執法処長顔文海通訳鄒尚友ノ手ニ依リ嚴重ナル取調ヲ受ケツツアリタルカ本月十八日奉天ニ護送セラレ愈々船長「ウイリチェン」ハ有罪ト決定シ暫行新刑法第二百五条ニ依リ四等有期懲役十八箇月ニ処セラレ船舶其他ハ全部同法第四十八条並ニ戒嚴令第四条第四項ニ依リ没収シ其ノ他ノ船員四十二名ハ放還セラレ何レモ本月十八日午後十時十分奉天発列車ニテ奉天側海軍兵十数名ニ護送セラレ哈爾濱ニ向ケ出發セリ然シテ一行ハ長春ニ於テ哈爾濱ヨリ来リタル支那官憲ニ引渡サレタルカ在長春支那官憲ハ右四十三名ハ元在奉天副領事「レウイン」(支那官憲ノ抗議ニ依リ曩ニ退去セルモノ)ノ陰謀ニ関与シタルモノナリト称シ又中立露紙「ザリヤ」モ左記ノ如キ

セラルル答テアル

一一四六 四月二十八日

在青島江戶總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

邦人ニヨル武器密輸ハ本邦港灣ノ積出地ニテ

嚴重取締方要請ノ件

第七二号

二十五日当地入港ノ泰山丸カ神戸ニテ積込ミタル種油入石油箱百六十箱(差出人荷受人共島田トアリ)ニ対シ二十六日当地海關カ無検査ノ儘ニ之ヲ通過セシメタルニ付鈴木副稅務司ニ就キ之ヲ訊シタル処鈴木ハ当地海關監督ヨリ張督弁ノ銃器タル護照ヲ提出シ無検査通過ヲ請求シタルヲ以テ已ムヲ得ス之ニ応シタル旨答ヘタリ尚ホ鈴木ノ云フ所ニ依レハ当地海關、北京總稅務司ヨリ督弁ノ護照アルモノニ対シテハ無検査通過差支ナキ旨内訓ヲ受ケ居ル趣ニテ今回ノ銃器ハ拳銃九百挺同彈丸二十二万五千発ナリトコトナリ右ノ如キ密輸入事件ハ自然直ニ当地在留邦人間ニ知レ渡リ当館ノ此ノ種事件ノ取締上頗ル困難ヲ感スル次第ニ付積出地ニ於テ嚴重取締方至急然ルヘク御手配相煩シ度シ尚ホ本件ハ拙電第五二号倉谷ノ所為ト思考セラルルニ付同人ノ行

記事ヲ掲ケ居タルモ事実ハ上記ノ通りニシテ「レウイン」ノ関係者ニアラス

共產主義者四十三名ノ追放(四月十八日

ザリヤ紙記事)

本日支那国外ニ追放セラレタル四十三名ノ「サウエート」市民二十七名ノ兵士護衛ノ下ニ南滿線經由哈爾濱ニ到着スル答テアル此等ノ者ハ營口、奉天及其他ノ都市ヨリ退去ヲ命セラレタルモノテアル伝ル処ニ依レハ彼等ハ「サウエート」当局ト特種ノ關連ヲ有スルモノテアルト彼等ハ支那ニ共產主義ノ宣伝ヲ行ヒ或ハ支那ニ有害ナル行為ニ出テタル科ニ問ハレタルモノテアル

彼等一行ハ四月十六日寛城子駅ニ到着シタ(註、前記ノ通四月十八日奉天出發翌十九日朝到着セリ)哈爾濱警察本部ハ此ノ報ニ接シ昨日東支鉄道ニ向ツテ彼等ノ護送上二輛ノ車ヲ配給スル様請願スル処カアツタ依ツテ鉄道ヨリハ寛城子駅ニ二個ノ車輛ヲ配給スヘキ命令カ發セラレタ本日午前七時半着哈ヲ待タレタカ遂ニ一行ノ來着カナカッタ彼等ハ哈爾濱到着後直ニ「ボクラニ―チナヤ」方面ニ追放

動然ルヘク御警戒アリタシ

北京ヘ転電シ濟南ヘ暗送セリ

一一四七 四月二十八日

在浦潮渡辺總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

オレグ号拿捕事件ニ関スル公信写送付ノ件

付屬書

同日付在浦潮渡辺總領事ヨリ在中国芳沢公使宛

公領機密第四号写

オレグ号拿捕事件ニ関スル件

機密第二〇七号

(五月十一日接受)

大正十五年四月二十八日

在浦潮斯德

總領事 渡辺 理恵(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

公信写送付ノ件

四月二十八日日本官發在支芳沢公使宛公領機密第四号写別紙ノ通り及送付

(付屬書)

四月二十八日付在浦潮渡辺總領事ヨリ在中国芳沢公使宛公領

機密第四号写

オレグ号拿捕事件ニ関スル件

公領機密第四号(写)

大正十五年四月二十八日

在浦潮斯德

総領事 渡辺 理恵

在支那

特命全權公使 芳沢 謙吉殿

「オレグ」号拿捕事件ニ関スル件

「オレグ」号拿捕事件ニ対スル露側ノ態度ニ関シテハ當時往電第一五号ヲ以テ及報告置タル処本月二十五日当県機関赤旗紙ハ本件ニ関シ別紙訳文ノ通り「張作霖ノ暴政下ニ於ケル「オレグ」号」ト題シ嘲笑的記事ヲ掲ケアルモ該乗組船員ノ実話トシテ伝フル処ニヨレハ本船ハ實際武器ヲ搭載シ居タル由ニテ右ハ露側カ罪跡モミ消シノ為メニナセル弁解の逆宣伝トモ被考処同船武器輸送ノ事實如何ハ本官今後ノ心得上詳知致度ニ付乍御手数本件ノ真相御確メノ上御回報相煩度右報告旁々申進ス

写送付先 本省

(別紙)

大正十五年四月二十五日 赤旗紙

ト宣言セリ搜索ハ開始セラレタリ

「オレグ」号ノ部分的荷卸ハ行ハレ約二百噸ノ昆布ハ陸揚セラレタリ陸揚作業ハ運送船ニテ到着セル約百名ノ兵士カ「親切ニモ」之ヲ為セリ

船長「ウィリチク」及全乗組員ハ陸揚中ノ場所ヨリ遠サケラレタリ斯カル状態ナレハ「オレグ」号ノ船艙内ニ於テハ如何ナル物ヲモ発見スルヲ得ヘカリシナリ敏活ナル張作霖軍ノ将校カ四十八箇ノ小銃藥莢ヲ発見シタルハムヘナリト謂フヘシ

右「発見物」ハ運送船指揮官ヲシテ傲慢ナラシメタリ其後「オレグ」号ハ二巡洋艦護衛ノ下ニ港ノ混乱ヨリ遠ク秦皇島ニ送ラレタリ

此処ニ於テモ前記同様ノ状況ノ下ニ陸揚ハ継続セラレタリ「幸福」カ依然張作霖軍ニ付纏ヒタルハ何等異トスルニ足ラス貨物中ニ再ヒ各種小銃彈藥莢千六百個ヲ発見スルヲ「得」タルカ又モヤ其内ニハ日本彈藥莢ハ多数ナリキ

茲ニ面白キ事項アリ支那市場ニ於テハ一彈藥莢ハ七十五哥ナリ半ハ飢エタル兵士等ハ其武器ヲ少々ツツ売買ス故ニ搜索ニ参加シタル者ノ彈藥莢ニ対スル利害關係ハ極メ

張作霖派ノ暴政下ニ於ケル「オレグ」号

(本多書記生記)

勞農商船隊ノ任務ハ国家及「コーペラチーヴ」商業団体ノ商業上ノ必要ヲ滿タスニ在リ此ノ目的ノ為勞農商船隊ハ多数ノ航路ヲ有ス汽船「オレグ」号ハ前掲諸航路ノ一即チ支那―朝鮮航路ニ就航セリ

最近「オレグ」号ハ昆布ヲ積載シテ通常ノ航海ニ出テ何等ノ異変無ク幸ニ大沽ニ到着シタルカ此処ニ於テ幾多ノ不快事ニ遭遇セリ

入港後直チニ張作霖派ノ一將校ト数名ノ兵士ヲ載セタル小蒸汽船ハ「オレグ」号ニ近寄り積荷ノ内容ニ関シ型ノ如キ訊問ヲ為シタルヲ以テ「オレグ」号ハ昆布ヲ積載シ居ル旨船長ハ報告シタルカ其答トシテ張作霖軍ノ將校ハ「オレグ」号ハ武器ヲ運送中ナリトノ情報アリト述ヘタリ其後小蒸汽船ハ程遠カラヌ地点ニ碇泊中ノ軍用船ニ去レリ右軍用船ハ支那船ナレトモ其ノ出所ハ容易ニ知ルヲ得タリ旧船名ヲ被フヘル塗料ノ下ヨリ明瞭ニ日本語ニテタイヨオ丸ト読マレタリ

軍用船ハ「オレグ」号ノ舷側ニ接近シ船ハ拿捕セラレタリ

テ容易ニ説明スルヲ得ヘシ

船長ハ搜索施行者ニ対シ自分ノ不在中及船員ノ不在中ニ行ハレタル搜索ノ結果ニ対スル責任ハ何等負フコト能ハスト公式ニ声明セリ

「オレグ」号ハ秦皇島ニ一昼夜碇泊シタル後又天津ニ送ラレタリ此ノ時迄ニ特別仕立テノ軍法會議ハ奉天ヨリ天津ニ到着セリ支那艦隊ノ一提督ハ白軍ノ「親切ニシテ」必然ナル援助ノ下ニ予審ヲ行ヒタリ予審中白軍通訳モ予審者自身モ(「オレグ」号戰時禁制品ノ秘密)ヲ乗組員ヨリ暴露セシメントシテ各種ノ恐怖ヲ以テ乗組員ヲ嚇スニ何等躊躇スルトコロナカリキ然レトモ努力ハ空シカリキ煽動ハ不成功ナリキ而カモ乗組員ヲ欺瞞セントシテ署名スル為支那語ニテ書カレタル或ル紙ヲ与ヘタリ然レトモ何等効力ナカリキ裁判ハ欠席裁判ニシテ判決ハ何人ニモ宣言セラルコトナカリキ乗組員ニ対シテハ単ニ各自ノ荷物ヲ纏メテ汽車ニ乗ルヘキコトヲ申出テタリ「オレグ」号ニハ看視ハ置カレタリ

船長「ウィリチク」ハ最初ハ乗組員ト共ニ行キシカ後護衛者ノ意見ニ依レハ「下級者ト共ニ行クハ彼ニ取リテ不便ナ

リ」トノ理由ノ下ニ隔離セラレタリ「ウイリチク」自身及乗組員ノ抗議ニ拘ラス此ノ親切ハ依然トシテ強制的ニ付纏ヒタリ途中「ウイリチク」ハ他ノ者ヨリ後レ彼ノ居所ニ關スル正確ナル情報ハ今日迄ナシ思フニ張作霖ハ彼ヲ「饗応スヘク」奉天ニ招待シタルニアラサルカ

天津―「ボグラニーチナヤ」間ノ通路ニ於テハ終始白軍ノ為嘲弄ノ限リヲ尽サレタリ

哈爾濱新聞ハ支那ニ共產主義ノ細菌ヲ持込ミタル「四十名ノ共產主義者」ヲ約一週間ニ亘リ狂氣ノ如ク攻撃スルコトニ熱中セリ途中ハ窓ヲ見ルコトヲ許サレス「ボグラニーチナヤ」付近ニ於テ無札ハ其ノ極度ニ達セリ此処ニ於テハ一支那警察部長ハ列車ニ現ハレ張作霖督軍ヨリノ「贈物」トシテ一人ニ付十弗ノ「路銀」ヲ「オレグ」号ノ乗組員ニ差出シタルカ乗組員ハ極メテ強硬ニ此ノ親切ヲ拒絶セリ今後ノ成行ハ如何

「オレグ」号事件ノ解決ハ我外交官ノ権限ニ委ネラレタリ張作霖軍及白軍並ニ之等ヲ指揮シアル者等ノ明白不都合ナル煽動カ今回モ亦恥辱ニ終ルヘキハ何等疑ヲ容ルル余地ナシ「オレグ」号ハ不日帰還スヘシ

「ウイリチク」船長ハ其乗組員ト合スヘシ

「オレグ」号乗組員ハ目下浦潮ニ在リ労働商船隊理事会ハ張作霖軍ノ饗応ヨリ暫時休息セシムル為乗組員ニ對シ団体休暇ヲ与フル予想ナリ右饗応ノ状況ニ關シテハ近日開催セラルヘキ音楽集会ニ於テ乗組員之ヲ物語ラン

一一四八 五月十一日 在芝罘別府領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛

伊国巡洋艦リビア号ノ武器売込説ニ關シ報告

ノ件

機密第一四〇号

(五月二十日接受)

大正十五年五月十一日

在芝罘

領事代理 副領事 別府 熊吉(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

伊国巡洋艦リビア号武器売込説ニ關スル件

五月十一日付機密第一三八号(烟台戒嚴司令王文泰兵器購入交渉ニ關スル件)ニ關シ王戒嚴司令カ談話中本官ニ洩ラセル処ニ拠レハ三月二十九日当地ニ入港シ五月七日大沽ニ向ケ出港セル伊国巡洋艦リビア号艦長アレッシオ大佐ハ王

軍事發第八六号

銃器密輸出ニ關スル件

大正十五年五月二十四日

陸軍省軍務局長 畑 英太郎(印)

外務省亜細亞局長 木村 銳市殿

五月六日付亜一機密第一五〇号ヲ以テ照会アリシ首題ノ件ニ關シテハ陸軍ニ於テ申越ノ如キ銃器私下ノ事実無之但シ大震災時ニ於ケル陸軍造兵廠、文部省所管学校其他焼損銃器ノ処分ニ就テハ左記ノ次第ナルニ付更ニ内務省ニ照会セラルルヲ可ナリト思料ス

左記

一、大震災ノ際造兵廠ニ於テ焼損シ銃器トシテ再用シ得サルニ至リタルモノハ大阪工廠及八幡製鉄所ニ送り製鋼材料ニ充當セラレタリ從テ民間ニ私下ケタルモノナシ

二、同時文部省所管ノ学校ニ於テ焼損シタル銃器ハ三十年式及三八式銃合計三、五五一挺及旧式銃六七七挺又紛失シタルモノハ各種銃取交セ五五九挺ニシテ焼損シタルモノニ關シテハ文部省ヨリ全然使用ニ堪エサル為適宜処分方當省ヘ照会アリシニ對シ陸軍省トシテハ異存ナキモ一

右真偽保シ難キモ何等御参考迄報告ス
本信写送付先 在支公使 在天津總領事

一一四九 五月二十四日 畑陸軍省軍務局長ヨリ
木村亜細亞局長宛

銃器密輸出ノ照会ニ關シ私下ノ事実ナキ旨回

報ノ件

応内務省ニ照会ノ上処理セラレ度旨回答セリ
三、右ノ外在郷軍人会等ノ銃器ニシテ焼損シタルモノアル
ヘキモ当省ニ於テハ不明ナリ
(所轄警察署ニハ届出アリシナラン)

一一五〇 六月十二日 在濟南藤田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

倉谷等ニ依ル青島向ケ武器密輸出ニ関シ其ノ
処分方ニツキ稟請ノ件

第九二号

(六月十三日接受)

倉谷箕藏青島經由十二日濟南ニ帰来セルヲ以テ取調ヘタル
処同人ハ東京滞在中弾丸三百発付「モーゼル」拳銃一挺金
百二十円青島渡シニテ神戸在住ノ福山一蔵ト取引ヲ契約シ
六日福山ハ自己ノ責任ニテ第一回ハ三月中旬神戸出帆原田
丸ニテ拳銃四百挺彈丸二十二万発ヲ第二回ハ四月神戸發泰山
丸ニテ拳銃九百挺彈丸二十二万五千発ヲ青島ニ輸出シタル
事實ヲ陳述シ尚ホ右ハ張督弁ノ委嘱ニ基クモノニシテ木村
亜細亞局長ノ諒解モアリ陸軍大臣等モ承知シ居ル筈ナル旨
弁明シ居タリ

本件ハ張督弁ノ依頼其ノ他ノ内情アリトスルモ倉谷カ福山

北京及青島ヘ転電アリ度

一一五二 六月十九日 在濟南藤田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

倉谷ノ退去処分等ニ関シ報告ノ件

第九四号

貴電第一六号ニ関シ

倉谷及同人妻ヨリ今後一ケ年間支那ニ渡来セサル旨ノ誓書
ヲ徴シ六月十六日右兩人ニ諭旨退去ヲ命シタリ尚張督弁ニ
対シテハ他日誤解無キ様適當ニ話シ置ク積リナリ
北京、青島ヘ転電セリ

一一五三 七月二十日 在青島矢田部総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

張山東督弁独商札和洋行ヨリ銃器彈藥輸入ノ
件

第一〇二号

本月十八日当地ニ入港セル独乙船 Bertram Rickmers カ
張督弁ニ供給スヘキ銃器彈藥ヲ輸入シ当地滞在中ノ張督弁
衛隊(十七日濟南ヨリ派遣セラレタルモノ総數二千余名)
ニ依リ鐵路濟南ニ運送セラレタル事實アリ海關其ノ他ニ就

某ト共謀シ武器密輸出ヲ敢テシタルハ蔽フヘカラサル事實
ナルニ付テハ我方トシテハ直ニ司法処分ニ付シタキモ当地
ニ於テ此ノ拳ニ出ツルコトハ張督弁トノ關係上面白カラサ
ルニ付同人並ニ同人幫助者ニ対シ退去又ハ在留禁止ノ処分
ヲ取リタシ何分ノ儀折返シ御電訓アリタシ

一一五一 六月十五日 在濟南藤田総領事宛(電報)

倉谷其ノ他ニ対スル措置ニ関シ回訓ノ件

第二二号

貴電第九二号ニ関シ

倉谷其他ニ対シ貴電ノ通りノ処分ヲ執ラレ差支ナシ尚ホ本
件ニ関シ木村局長ニ於テ諒解ヲ与ヘタルカ如キコトナキノ
ミナラス同人来省ノ際同局長ヨリ特ニ嚴重ナル警告ヲ与ヘ
置キタル位ナルカ當時内務省側等トモ打合ノ結果主犯者等
青島来電ニテハ的確ニ判明セサリシ為メ訴追ノ措置ヲ執ラ
サリシ次第ナリ將又倉谷ニ於テ陸軍大臣ヲ訪問シタルコト
ハアルモ本件ニ付何等申入レタルカ如キコトナキ趣ナリ為
念

キ調査セル処ニ依レハ右輸入ニ関シテハ海關ニ対シ張督弁
發給ノ護照及海關監督ノ公文ヲ送致シ申告書ニハ獵銃二百
二十四箱同彈藥九百七箱(總量百二十噸)、發送地馬尼
刺、荷受人楊欽臣トアリ同汽船ハ入港後第三埠頭(危險品
積卸場)ニ繫留シ前記衛隊ノ嚴重ナル警戒裡ニ荷役ヲ行ヒ
予メ準備セラレタル貨車ニ積込ミタルモノナリ衛隊ノ来青
ニ付テハ目下第三軍ト第八軍(畢司令部下)トノ反目ニ関
連シ種々憶測セラレタルモ其ノ実張督弁ヨリ近々避暑ノ為
メ来青ノ報アリ之カ警備トシテ派遣セラレタル者ナルカ如
キモ其ノ一部ハ右銃器輸入ノ警護ニアリタルコト推測ニ難
カラス(督弁ノ予定變更ニ依リ十九日全部当地ヲ引揚ク)
本件銃器ハ当地独商札和洋行ノ取扱ニ係ルカ如ク本邦人ト
ノ關係ハ不明ナリ
北京、濟南ヘ転電シ芝罘、天津、奉天、上海、漢口、馬尼
刺ヘ暗送セリ

一一五四 七月二十八日 在青島矢田部総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

張山東督弁輸入ノ独逸製武器ニ関シ申進ノ件

第一〇七号

往電第一〇二号銃器彈藥ノ数量ニ関シ当地海關ヨリノ内報ニ依レハ独逸式小銃一二二〇挺彈九十六万一千發ニシテ独逸本國ヨリ「マニラ」經由輸入セラレタルモノナリ本邦人ノ關係無キモノノ如シ
在支公使、濟南ハ電シ芝罘、天津、奉天、上海、漢口、馬尼刺ヘ暗送セリ

一一五五 七月二十八日 在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛

吳佩孚ヨリ楊森ニ密送セル武器仏國軍艦ニヨリ押収セラレタル件

機密第一九三号

(八月十八日接受)

大正十五年七月二十八日

在重慶

領事代理 後藤 祿郎(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

仏國軍艦武器押収ニ關スル件

吳佩孚ヨリ討賊軍總司令楊森ニ宛テタル小銃三十箱(三百挺)彈藥二十九箱(三万發)ハ漢口宜昌間ハ正式通關手續キヲ經テ輸送セラレタルモ宜昌ヨリハ聚福洋行(表面仏國

公第六〇二号

(八月十日接受)

大正十五年八月五日

在奉天

總領事 吉田 茂(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

奉天兵工廠ノ旋盤機購入ノ件

張作霖ハ奉郭戰後専ラ軍備ノ充実ヲ図リ奉天兵工廠内各部ノ設備ヲ整ヘ銃砲ノ製造ニ努メツツアル処情報ニ拠レハ予テ同廠ヨリ大坂機械製作所ニ注文セシ彈丸製造用旋盤機二十三台(一台価額金二千円)ハ當口ニ陸揚ノ上近ク当地ニ輸送セラルル由

右御參考迄報告申進ス

本信写送付先 在支公使、牛莊領事

一一五七 八月九日 在漢口高尾總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

馮玉祥ノ兵器購入及ビ米國政府ノ対応ニ關スル情報申進ノ件

第二〇〇号

(八月十日接受)

当地三井物産ヨリ得タル情報ニ依レハ同社ヘ紐育支店ヨリ

一〇 雜件 一一五七 一一五八

汽船会社)所屬汽船福源号ニテ密送シタルカ本月十六日午後二時万県ニ於テ之カ陸揚ケニ際シ同地停泊中ノ仏國軍艦ニヨリ査覺セラレ右物件ハ悉ク押収ノ上楊森ニ對シ其不都合ヲ詰問シタル処楊ハ之ヲ否認シ右ハ墊江駐防軍第十三師長范海廷ノ所為ナルヘシト弁明シ其責任ヲ轉嫁シ居ル趣ナリ

当地海關ニ於テハ該汽船ニ對シ本件武器密輸ノ廉ヲ以テ銀一千兩ノ罰金ヲ科シ其完納ヲ見サル限り出港ヲ差止メタルモ当地仏國領事ノ斡旋ニヨリ該船ハ不取敢銀一千兩ヲ同國領事ニ供託ノ上漸ク出港シ得タルモノノ如シ因ニ同武器ハ右様事情ノ為メ目下仏國軍艦ニ保管中ナルモ結局ハ海關ノ手ヲ經テ楊森側ニ引渡サルルモノト思料セラル
右何等御參考マテニ報告申進ス

本信写送付先 在支公使、漢口總領事、宜昌領事、万県出張員

一一五六 八月五日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

軍備充実ノタメ張作霖ガ奉天兵工廠ニ旋盤機購入ノ件

馮玉祥ハ近ク軍器飛行機及「タンク」等ヲ購入ノ上帰途ニ就クヘキ模様アリ尚ホ馮ハ米政府ヲ動カシテ右軍需品ノ自由通過ヲ計ラントシ米國亦之ニ応スヘキ見込ナリトノ電報アリシト云フ
北京、奉天、南京ヘ電セリ

一一五八 八月二十八日 西沢製鉄所大冶出張所長ヨリ
幣原外務大臣宛

孫武ヨリノ武器供給要請ヲ拒否シタル件

大正十五年八月二十八日

製鉄所大冶出張所長 西沢 公雄(印)

男爵 幣原 外務大臣閣下

支那軍閥ノ内訌戰ニ關スル結果ニ就テハ從來幾多ノ予報ヲ發シ御參考ニ相供置候処馮玉祥意氣銷沈ノ跡ヲ繼テ蔣介石ハ広東ノ健児ヲ引率シテ電光石火の二湖南ニ突出シ唐生智軍ト相合シ一挙ニ北軍ノ精銳ヲ屠リ一躍湖北境域ニ侵入シ武漢ノ天地ヲ脅威シ人心兢々已ニ避難者ノ多数ヲ当地ニ見ルノ実情ニ有之候此際ニ方リ孫伝芳ノ援兵ト吳佩孚ノ帰漢トハ僅ニ武漢ノ人心ヲ鎮撫致居候次第ニ有之広東軍ニ蔣排

斥派ノ擡頭アリ蔣介石ハ此後顧ノ憂アルカ為ニ孫伝芳ノ江西援軍ノ未タ湖南ニ入ラサル以前ニ乾坤一擲ノ輸贏ヲ武昌城頭ニ試ムルノ決心ナリシナランモ北軍中仍ホ猛雄其人ニ乏シカラス爾ク赤軍ヲシテ易々武漢ノ鎮鑰ヲ蹂躪セシムルコトハ到底不可能ト愚考致居候右ニ就テ武昌官礮局督弁陸軍大將孫武ハ先般以來屢々軍銃速射砲五六千個ノ正式買入方ヲ小官迄懇願致居り候処其都度小官ハ我政府ハ貴国内訖ニ就テハ南北孰レヘモ不干渉主義貫徹致居候儀ニテ御依囑ノ事件ハ到底上申スルモ何等効力無之儀ト御承知相成度旨再三先方ニ対シ婉拒致置候間此段御参考ニ供候也

一一五九 九月二日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

仏国公使來奉ノ目的等ニ関シ申進ノ件

第二六五号

当地特務機關側ヨリノ情報ニ依レハ仏国公使「マルテル」來奉ノ目的ハ中仏商工銀行開店ノ為其他一般の挨拶ノ為ナリトノコトナルモ実ハ奉天側ニ対シハ飛行機五十台売却ノ件当地無線電信及兵工廠視察等ニ在ルモノノ如ク或ハ金法問題ヲ何等カノ意味ニ於テ張作霖ニ理解セシメ仏支条約改

訂ニ利用セムトノ魂胆アルヤノ噂アルモ真偽未タ確メ難シ(往信機密第六七四号参照)

猶于沖漢ノ駐日公使説ハ楊宇霆ニ於テ其希望アルモ同人ハ吸引者ナル為其点ヲ懸念シ居レリトノコトナリ
北京へ転電セリ

一一六〇 九月十八日(着) 在上海矢田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

温宗葵、孫伝芳ノ意ヲ受ケ本邦ヨリ彈藥供給
方申入レノ件

第二六七号

十六日温宗葵來訪孫伝芳ノ意ヲ受ケタリトテ日本ヨリ彈藥ノ供給ヲ受ケ度カ右可能ナリヤト相談ヲ持チ掛ケタルニ付右ハ往電第二六五号丁文江ノ言ト矛盾スル旨ヲ指摘シタル処丁ハ学者ナレハ孫ニ於テモ此ノ種ノ事ニ付テハ其実ヲ打明ケサル次第ナリ戰爭短期間内ニ濟メハ差支無キモ若シ永引ク時ハ不足ヲ生スヘシト答ヘタルカスノ如キ事ヲ本官ニ持込マルル事才門違ナルヘク又確然タル申込ニハ別段意見モ述ヘラレスト返答シ置ケリ

同人ハ英國總領事館ニ屢々出入シ居ル由ニ付往電第二六一

号英國總領事ニ申出タルモノト同一人ナルヘシト察セラルル処同人ノ社会的地位ニモ鑑ミ万更出鱈目ニモ非サルヘキモ為念岡村中佐等陸軍側ニ聞合セタルニ何等右様ノ話ハ句ハサレタル事モ無シトノ事ナルニ付或ハ英國總領事ニ意ヲ含メラレ当方意向ヲ探リニ來レルモノナルヤモ計ラレス為念

在支公使、天津、奉天、漢口へ転電シ南京、蘇州、杭州へ暗送セリ

(2) 万県事件

一一六一 八月四日 在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

日清汽船楊森軍兵士ノ無賃乗船甚ダシキタメ
万県等ニ停船セザル方針ヲ実施ノトコロ同軍
兵士江岸ヨリ射撃セル件

第二九号 (八月八日接受)

本官發万県出張員宛テ電報左ノ通り

第二号

近來楊森所屬兵ノ無賃乗船甚ダシキタメ日清汽船会社ニ於

一〇 雜件 一一六一 一二六二

テハ毎航海至大ノ障礙ヲ受ケツツアルニ顧ミ其ノ障礙ヲ避クル為メ万県其ノ他ニ停船セサル方針ヲ採ルコトナリ八月二日雲陽丸ヨリ右方針ヲ実施シ貴地ニ停船セサリシニ原因セルモノカ同船二日正午涪州通過ニ当リ同地支那兵江岸ニ散兵シ同船ヲ要撃シ数千発ノ射撃ヲ加ヘ乗組員数名ヲ傷ケ船体ニ三百発余リノ彈痕ヲ見タリ右ニ對シ貴官ハ不取敢楊森ニ對シ其ノ事由ヲ詰問シ同時ニ本官ノ訓令トシテ嚴重抗議ヲ提起シ何分ノ儀回電アリタシ

大臣、公使、漢口、上海、宜昌へ転電セリ

一一六二 八月四日 在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

楊森側ハ万県ニ停船セザルニ對シ誤解ヲ抱キ
報復手段ニ出デオウルニツキ今後ハ同地ニ停泊
方会社へ命令アリタキ件

第三〇号 (八月十二日接受)

八月二日正午日清汽船会社雲陽丸涪州通過ニ当リ同地支那軍隊ノ為数千発ノ射撃ヲ受ケ乗組員支那人三名負傷シ船体ニ三百五十余ノ彈痕ヲ加ヘラレタルヲ以テ不取敢万県出張員ニ對シ往電第二九号ノ通り楊森總司令ニ嚴重抗議方命シ

一四二九